

令和4年度第1回津市健康づくり推進懇話会会議録

1	会議名	令和4年度第1回津市健康づくり推進懇話会																								
2	開催日時	令和4年6月2日（木）午後2時30分から午後4時まで																								
3	開催場所	津リージョンプラザ3階 第7会議室（津市西丸之内23番1号）																								
4	出席者の氏名	（津市健康づくり推進懇話会委員） 深井英喜、清水真由美、草川雅之、小山睦、亀井貴彦、松室泰輔、柵博光、岡本麻衣、小林小代子、朝倉征子、溝田久孝、野口寛子、佐藤典子、川田いくこ、佐藤弘道、森田由貴、中川恵子、奥山典子、藤井浩史、盆野綾子（敬称略）（20名） （アドバイザー） 三重県津保健所 副所長兼保健衛生室長 紀平由紀子 （事務局） <table border="0"> <tr> <td>津市健康づくり課</td><td>担当参事兼課長</td><td>米倉一美</td></tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td><td>保健指導担当主幹</td><td>庄山直美</td></tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td><td>保健指導担当副主幹</td><td>鈴木香</td></tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td><td>保健指導担当副主幹</td><td>井川裕子</td></tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td><td>保健指導担当</td><td>角谷旺美</td></tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td><td>保健指導担当</td><td>黒川珠羅</td></tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td><td>保健指導担当</td><td>石田景子</td></tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td><td>管理担当</td><td>浅井未彩希</td></tr> </table>	津市健康づくり課	担当参事兼課長	米倉一美	津市健康づくり課	保健指導担当主幹	庄山直美	津市健康づくり課	保健指導担当副主幹	鈴木香	津市健康づくり課	保健指導担当副主幹	井川裕子	津市健康づくり課	保健指導担当	角谷旺美	津市健康づくり課	保健指導担当	黒川珠羅	津市健康づくり課	保健指導担当	石田景子	津市健康づくり課	管理担当	浅井未彩希
津市健康づくり課	担当参事兼課長	米倉一美																								
津市健康づくり課	保健指導担当主幹	庄山直美																								
津市健康づくり課	保健指導担当副主幹	鈴木香																								
津市健康づくり課	保健指導担当副主幹	井川裕子																								
津市健康づくり課	保健指導担当	角谷旺美																								
津市健康づくり課	保健指導担当	黒川珠羅																								
津市健康づくり課	保健指導担当	石田景子																								
津市健康づくり課	管理担当	浅井未彩希																								
5	内容	1 あいさつ 2 自己紹介 3 会長・副会長の選出 4 津市第3次健康づくり計画について （1）概要について （2）強化目標と取組状況について 5 津市第3次健康づくり計画の評価及び第4次健康づくり計画について 6 津保健所からの情報提供 7 その他連絡事項																								
6	公開又は非公開	公開																								
7	傍聴者の数	0人																								
8	担当	健康福祉部健康づくり課 電話番号 059-229-3310 E-mail 229-3310@city.tsu.lg.jp																								

1. あいさつ

【事務局】

本日はお忙しい中御参加いただきまして誠にありがとうございます。令和4年度第1回津市健康づくり推進懇話会を始めさせていただきます。この度は津市健康づくり推進懇話会委員をお引き受けいただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の第7波が訪れるかという状況の中、令和4年度がスタートしました。引き続きコロナウイルスワクチン接種を進めていくと共に、一つ一つのリスクを確認しながら事業の実施について丁寧に検討し、展開していきたいと思っておりますので御理解の程よろしくお願いします。

今回初めて委員に御就任いただく方は12名です。「津市健康づくり推進懇話会」について簡単に説明させていただきます。津市健康づくり推進懇話会設置要綱を御覧ください。第1条にありますように、本市の住民の生涯にわたる健康づくりに係る施策に関し広く意見を求め、その効果的な推進に資するために設置した会であり、第2条にあります所掌事項は、(1)健康づくりに係る計画に関すること、(2)健康づくりの推進に関すること、(3)その他健康づくりに関することということで、健康づくりとばかり乱立しておりますが、私たち健康づくり課は皆さんで健康をつくっていくことを主にしており、そのような形でこのように明記されております。皆様の任期は2年でございます。関係団体からの推薦により御出席いただいている委員の皆様により、健康づくり推進に向けて御協議いただきます。新しく就任いただいた方にお配りした津市第3次健康づくり計画は、懇話会の皆様と課題を共有し何度も話し合いを重ね、平成29年3月に策定いたしました。策定後は一緒に啓発等に取り組んで参りました。今年度は、昨年のお話し合いを土台として、委員の皆様と一緒に第4次健康づくり計画策定に向けて第3次計画の評価を進めていくため幅広く御意見をいただきたいと思いますと思っております。本懇話会のアドバイザーとして、津保健所副所長兼保健衛生室長の紀平由起子様に御参加いただいております。紀平様よろしくお願いいたします。また、第4次健康づくり計画策定のアドバイザーは今年度から委員になっていただきます。三重県立看護大学清水委員にお世話になりますのでよろしくお願いいたします。

続きまして事務局の職員を紹介させていただきます。健康福祉部健康づくり課の米倉と申します。それから庄山、井川、鈴木、浅井、石田です。このほか角谷、黒川というメンバーがおります。以上のメンバーが皆様と一緒に健康づくりを進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、本会議は、津市情報公開条例第23条の規定に基づき、公開の対象となるため、議事の内容につきまして録音をさせていただきます。また、会議の様子を撮影させていただきますので御了承ください。

2. 自己紹介

【事務局】

それではまず皆様の自己紹介をしていただきたいと思いますのですが、飛沫防止対策としまして、お席で座ったままお話いただきたいと思います。一度お立ちいただきお顔を見せていただいた後は、着席して一言よろしくお願いいたします。マイクを回しますので、前の方からよろしくお願いいたします。

【深井委員】

こんにちは。三重大学から来ました深井と申します。私の専門は経済学でして、経済学の観点から地域づくりとそれに関わる健康問題にあたり健康づくりというような色んなことをやっています。その関

係でアドバイスをさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【清水委員】

三重県立看護大学の清水と申します。私は大学の方では公衆衛生看護学を担当しております。アドバイザーとしてすでに色々とアドバイスさせていただいているところです。お役に立っているかわかりませんが今年度からよろしくお願いいたします。

【草川委員】

津地区医師会の草川でございます。缶バッチが12個もついています。3、4年前に懇話会が缶バッチをたくさん作っていて、12個持っている人はこの中では多分一人か二人かしきません。今年も続けさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

【小山委員】

久居一志地区医師会の小山と申します。久居で消化器内科を開業しています。懇話会は全く初めてですので、しっかり勉強させていただきますので、何かわからないことがあれば教えていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【亀井委員】

津歯科医師会の亀井と申します。よろしくお願いいたします。津市内で歯科を開業しております。年齢は49歳で、開業後16年程度やっております。今回の懇話会は突然言われた話で今までの経験もありませんし、どんなことをするかも分かりませんので、みなさん御指導よろしくお願いいたします。

【松室委員】

津薬剤師会の松室と申します。前回任期の途中から任命を受けて懇話会に来させていただきました、引き続き今期も御世話になります。薬剤師ですので、薬局、医薬品、それから公衆衛生に関して皆様の役に立てればと思っております。

【柵委員】

中勢地区労働者福祉協議会から参りました柵と申します。私も前任者から何も聞かずに来て、初めてこういうことをするので考えながらやっていきたいと思えます。ちょっと個人的に言いますと最近検査入院をしたというところで健康については考えなければならないというタイミングでしたので、ちょうどいいかなと思えます。皆様のことも考えつつ、自分の健康を考えながらいきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

【岡本委員】

全国健康保険協会三重支部から参りました岡本と申します。全国健康保健協会と申しますと聞きなれない名称かと思いますが社会保険の健康保険証を発行している元でございます、健康づくりといたしまして私どもの健康保険証をお持ちになっている会社の従業員さんの生活習慣病予防や、会社様の健康経営等をサポートするような事業を中心にさせていただいています。どうぞよろしくお願いいたします。

【小林委員】

津市食生活改善推進協議会の小林と申します。よろしくお願いいたします。私たちの推進協議会は皆さんの健康づくりのお手伝いをさせていただいています。身近なことからコツコツと、塩分は控えめ、野菜たっぷりと、ということをやっていると、これからもずっと言い続けるのでよろしくお願いいたします。

【朝倉委員】

朝倉でございます。健康づくり推進連絡協議会を代表させていただいております。文字の通り健康についての推進員さんを増やそうという活動と、一般の住人さんを交えての活動をさせていただいております。

【溝田委員】

津市スポーツ協会から参加させていただいております溝田と申します。今回が初めての参加となります。どうぞよろしくお願いいたします。スポーツ協会といえますと色々なスポーツ団体が参入されておられます。同じスポーツであっても、競技スポーツを目指す方、健康づくりということで参加される方、色々な方がおられます。色々な視点がございまして今回の活動を通じて学ばせていただければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

【野口委員】

特定非営利活動法人津子ども NPO センターの野口と申します。津子ども NPO センターは子どもの権利条約を担う等、様々な活動をしております。津市からはセンターパレスにあります、まん中こども館や津市ファミリーサポートセンターを受託して、日々子ども達と接しております。様々な健康のことを色々考えていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

【佐藤典子委員】

エンパワメントみえから参加させていただきます、佐藤と申します。よろしくお願いいたします。今回初めての参加になります。エンパワメントみえは2000年に設立された団体でして、過去には虐待をしている親への支援者として三重県 MYTREE ペアレンツプログラムを三重県と共同して務めさせてもらったり、DV 被害母子のメンタルケア事業を三重県より委託され開催しております。他に障害がある子どもを持つ親へのプログラム、最近ではアドボカシー研究会というものに参加しながら、アドボカイトの勉強をしたりしています。あと最近実施したプログラムとしては、2021年になるのですが、母子生活支援施設に入所されているお母様方にきらきらママ支援プログラムというものを実施いたしました。よろしくお願いいたします。

【川田委員】

ユニバーサルデザインまちづくりの会の川田と申します。よろしくお願いいたします。ユニバーサルデザインと言いますと、障害者の方であっても健常者の方であっても誰でも使いやすいデザインのものとわかりやすいものということで、主に小学校を中心に啓発活動を行っております。それと新しくできる施設のトイレの高さについてのアドバイス、車椅子での移動がしやすい施設づくりについての意見をさせていただくということで、健康で誰もが住みやすいまちづくりを目指して活動しております。よろしくお願いいたします。

【佐藤弘道委員】

津市私立幼稚園・認定こども園協会から来ました佐藤弘道と申します。よろしくお願いします。津市の私立幼稚園・認定こども園協会で、子ども達の健康もそうなのですが、子ども達を通して保護者の皆様にも健康に関する啓発活動をしていければということで参加をさせていただいております。私自身今回3期目になり、1期目は全く興味がなくてただ座っているだけだったのですが、2期目くらいから何となく健康に関する感心を持てるようになって、この会に参加させていただいたことで少し健康になったように思います。3期目はさらにそれを進めていって周りの方にも啓発していくことができればと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【森田委員】

津保育所施設長連絡協議会から来ました、津市立河芸こども園の森田と申します。よろしくお願いします。今日は天気が良く、5歳児クラスが玉ねぎの収穫をして105個とれました。子ども達も大歓声で喜んで2個ずつ持って帰ることができたので、すごく楽しかったです。こういう風に食生活や栄養、運動の観点から話を聞かせていただき、私も今回初めて参加するので、皆さんと一緒に健康について考えていき、保護者の方にも発信をしていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【中川委員】

こんにちは。香良洲浜っ子幼児園子育て支援センターの中川と申します。浜っ子幼児園に併設させていただいている支援センターでコーディネーターとして、未就園児の親御さんが遊びに来る場を提供しています。その中で、最初に口にするものであったり、離乳食であったり、日々の中でお子さんを育てるための悩みとか、どうしたら良いのだろうという不安なお母さんが沢山いることを、私自身学んでいます。コロナでも、ここは安心して遊べるのでいいと親子がほっとしながら、ゆったりした気持ちで子育てするのを応援しながら私たちも一緒に学んでいます。何か悩みがあったら保健センターを紹介する、繋げていくという包括支援センターです。私も初めて参加しましたが、すごく身近な会なのだなと感じております。どうぞよろしくお願いいたします。

【奥山委員】

津市立誠之小学校の奥山です。私は久居の誠之小学校で養護教諭、保健室の先生をしています。小学校の子ども達や保護者の方と関わって、毎日とても楽しく過ごさせていただいております。今回、懇話会の委員をさせていただくことになりましたので、たくさん勉強させていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

【藤井委員】

こんにちは、イオンリテール株式会社イオン津店の藤井と申します。昨年9月に、伊賀市のイオン伊賀上野店から着任しまして、伊賀市ではこういった取り組みに参加する機会がなかったものですから、是非この機会に地域のお客様の健康づくりに少しでもお役に立てるよう参加させていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

【盆野委員】

株式会社ZTVの盆野と申します。よろしくお願いします。今回初めて参加させていただきます。普段はコミュニティチャンネルという放送をしている番組の制作に関わっております。懇話会では、日頃

関わることのない方々と交流できるということで楽しみにしています。色々勉強させていただけたらと思います。よろしくお願いします。

【事務局】

ありがとうございました。

3. 会長・副会長の選出

【事務局】

それでは続きまして、会長、副会長の選出をお願いしたいと思います。津市健康づくり推進懇話会設置要綱第5条により会長、副会長の選出は委員の互選となっていますがいかがいたしましょうか。

【委員】

事務局一任で。

【事務局】

ありがとうございます。事務局一任のお声をいただきましたので、長年懇話会委員として御活躍いただいております草川委員に会長を、小林委員に副会長を推薦させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(拍手)

ありがとうございます。御承知いただきましたので会長を草川委員様、副会長を小林委員様にお願いしたいと思います。では草川会長、小林副会長から一言お願いします。

【草川委員】

今年はちょうど、先程、説明であったように第3次健康づくり計画終盤となり第4次に入っていく、そうすると第3次の総括をして第4次に向けてのアンケート等をする、そして第4次実施計画を策定していかないといけない、それに関してパブリックコメント、懇話会あるいは市民団体から意見を聞くことをしないといけない。で、私たち懇話会は市民団体から意見を聞くというところで使われています。最初この懇話会に参加させていただいたとき、善意にあふれた善良な方々がいらっしゃってとても驚いて、僕のような人間には居心地が悪かったのですが、時間を経ていくにつれて実現可能なささやかな施策を思い立ちそれを提案して個々の事業の中で発言していくと、それが実際に行われていくのだという実感を持ちはじめています。ただ、会議で比較的自由な意見は出るのですが、強い意見、画期的な意見が中々ない場合があったりして、皆さんには何々がおかしいよとか、これもうちょっと何とかならんのか、そういった今度起こりうる悪いこと予想して次の対策を立てる、普段からそういう目を持って、暮らしていただきたいなというのが私の実感です。

【小林委員】

先程会長の方が色んなことを全部喋っていただきましたが、私も長くこの懇話会に携わらせていただいております。皆さんで気楽に明るく、色んな意見を出し合って津市の健康づくりをできたら一番いいかなと思っております。意見は中々出しにくいものですが、やはりこの中で笑いながら楽しく意見を出し合って、皆さんと健康づくりができればいいなと思っています。去年の元気戦隊ゲンエンジャー、こ

れもやはり皆さんの力でできました。皆さんのコツコツ一つの力が大きなものになってくると思います。未熟ではありますが、皆さんまたよろしくお願いします。

【事務局】

ありがとうございました。では、ここからの議事進行につきましては草川会長にお願いしたいと思います。

【草川委員】

そうしましたら事務局の方から第3次健康づくり計画の評価及び第4次健康づくり計画について、御説明をお願いします。

4. 津市第3次健康づくり計画について

(1) 概要について

【事務局】

それでは津市第3次健康づくり計画の概要について御説明させていただきます。新しく委員になられた皆様へはお手元に計画書とダイジェスト版を御準備させていただきました。本日お持ちでない方がいらっしゃいましたらおっしゃってください。引き続き委員になっていただいた方には再度の説明になりますが、御了承ください。それでは、御説明させていただきます。

津市健康づくり計画は、行政や地域の団体、市民の方と一緒に健康づくりを進めていくための計画です。第1次計画は平成18年度の合併後、第2次計画は平成24年度に策定されました。第2次計画の評価を踏まえ、懇話会委員の皆様からたくさんの御意見をいただき、平成29年度に第3次計画が策定されました。

計画書3ページをご覧ください。パワーポイントになりますけれどもこちらの図は第3次計画、健康づくり計画の位置付けとなります。津市健康づくり計画は、健康増進法に基づく市町村健康増進計画に位置づけられています。住民の健康増進に関する施策についての計画になります。そして母子保健計画も包含しており、赤ちゃんから大人まで、全ての年代における健康づくりの推進を目的としています。

続きましてこちらは、第3次健康づくり計画の基本理念となります。計画書6ページをご覧ください。ヘルスプロモーションという言葉があるのですが、そのヘルスプロモーションの理念をイメージで詳しく説明をさせていただいております。この図は、坂道で健康と書いた丸い球を、押して転がしているという設定ということで、赤矢印の人が健康づくりを行う本人になります。球を転がす本人の背中を、家族とか地域住民の方、行政関係者の3人が押しています。本人1人で球を転がすよりも後ろにいる人が一緒に押せばより早く先に進むことが出来ます。家族や専門家、周囲の人が本人を支えて一緒に球を転がすということで必要な健康に関する知識とか、技術を身につけることが出来ます。病気を予防してより豊かなその人らしい人生を送ることを目指しております。また坂道となっているので、重い球は中々前には進みません。前に球を進めて行くために坂の傾斜を少し下げる必要があります。そのためにその人の健康をサポートする環境や制度を整えていく必要があるという図になります。

自助、共助、公助ということが書いてありますけど、その傾斜を少し緩めて、上へ健康づくりの健康の球を転がしやすくなるという基本理念がヘルスプロモーションとなっております。

続きましてこちらは第3次計画の基本方針になります。(1) 一次予防に重点をおいた健康づくりを推進します、(2) 協働しながら健康づくりを推進します、(3) 目標を設定し、評価しながら健康づく

りを推進します、(4) 計画的に健康づくりを推進します、の4つの基本方針があります。健康増進と病気の発症そのものを予防していく一次予防に重点を置きまして、様々な団体の方と連携して協働しながら達成状況を確認し、年度ごとに計画的に健康づくりを推進しています。

続きまして計画書7ページをご覧ください。こちらは第3次計画の位置づけのイメージ図になります。第1次計画と、第2次計画では健康づくりの土壌を作り、種をまいて、芽を育ててきました。第3次計画ではその芽を更に大きく育てていくことで、健康づくり計画の大目標であるところ豊かに楽しく元気に暮らそう、の実現を目指していきます。

続きまして計画書の61ページをご覧ください。これは健康づくり推進体制のイメージ図です。市民の方の健康づくりを医療や教育、マスメディア、地域、企業、職場、非営利団体、福祉、ヘルスボランティア等、地域の色々な社会資源と連携して協力し合い、共に取り組みを進めていくことを目指しております。懇話会にはそれぞれの分野から出席していただいております。懇話会委員の皆様には地域の社会資源として様々な御意見をいただいたり、一緒に健康づくりの取り組みを行ったり、所属団体を通じて市民の方々に広く啓発をお願いしたいと考えております。

続きまして計画書62ページをご覧ください。こちらは計画の体系図で、食生活・栄養、運動、たばこ、アルコール、歯とお口の健康、生活習慣病・がん、休養・こころ、仲間づくり、感染症・熱中症、災害への備えの10分野を実現するために目標設定して具体的な取り組みを進めてまいります。分野の枠の左に、強化とついている食生活・栄養、運動、たばこ、生活習慣病・がんは、第3次計画を加速して推進するための強化分野と位置付けております。

計画書は63ページで、その6つの強化分野と強化目標について、をお示ししております。強化分野4分野に関しまして6つの強化目標を定めております。食生活・栄養分野の強化目標としまして、子どもが主体的に朝ごはんを食べる。運動分野では日常生活で運動を意識し体を動かす。たばこの分野では子どもが受動喫煙の害を受けない。生活習慣病・がんの分野では若いうちから薄味に慣れる、適正体重を意識して週1回は体重測定を行う、自分の生活習慣を振り返るためにがん検診や健康診査を受けるとしております。それぞれに特に力を入れて取り組む重点世代を設定しまして、計画的に推進する為に、具体的な年次計画を立てております。

続きまして第3次計画の健康づくり計画の10分野と強化分野の推進で大切にすることとなります。取り組みとしましては市民、地域、市それぞれが主体となって健康づくりを進めて参ります。さらに各主体の取り組みが繋がりあい協働することで、ライフステージや地域特性にあった健康づくりを効果的に進めていき、津市全体の健康を高めていくと考えております。

続きまして第3次健康づくり計画の新たな取り組みとしまして、津市健康づくり実践企業の登録というものをしております。生活習慣病を予防し若いころからの健康づくりに積極的に取り組む市内の企業や事業所を募集します。計画の強化目標2つ以上取り組みますという方を対象としまして、働く世代の啓発として広報や商工会を通じてPRしまして、登録すると、お得な特典がありますよと呼びかけております。次のこのパワーポイントのように現在45企業が御登録いただいております、近く46企業に増える予定となっております。

それからもう一つの新たな取り組みといたしまして、津市健康マイレージ事業の実施があります。市民の皆様に健康づくりに取り組んでもらうきっかけとしまして、県が作成した三重とこわか健康応援カードを交付しまして、抽選で津市の特産品をプレゼントしますという仕組みのものでございます。これまで健康づくりに関心のない市民の方が健康づくりを始めるきっかけとなるように三重県全市町で実施、自分に合った健康づくりに取り組みポイントをためて申請してもらうという事業になります。令和3年度は581人の方に御申請いただきました。

（２）強化目標と取組状況について

【事務局】

引き続きまして、強化目標と取り組み状況についてです。この計画で４つの分野、６つの強化目標を立てるに至った経緯とこれまで懇話会と共に進めてきたこと、今現在進めていることについて説明させていただきます。

強化目標、食生活・栄養についてです。この第３次健康づくり計画を立てる前、第２次健康づくり計画を評価することで見てきた津市の状況となります。これは朝食を毎日食べる人の割合ということで、左側の濃い側のグラフの方が平成２２年で、右側が平成２７年の調査の結果となっております。この赤枠で囲んだ左側の所ですが、未成年が７割台と、割合が最も低い状況で、この赤枠の右側、子育て期の保護者ですが、５年間を比較すると減少している状況となっております。

次に成人の年代別に見た平成２７年度のグラフになります。年齢別に見ますと赤枠の上、男性では２０から４０歳代、女性では２０歳代が低く、就労世代や子育て中の世代で低い状況ということが分かりました。右端の男性女性を合わせた成人全体でも５年間で８４．１％から８３％と毎日朝食を食べる割合が減少しているということが分かりました。朝食を食べないことで１日の活動準備が整わない、１日の野菜摂取量も減少してしまうという課題、また、保護者の朝ごはんや就寝時間等の生活リズムの悪化が子どもへも影響するという事が考えられました。子どもの食事を準備するのは保護者であると考えられますが、家庭の事情も様々であるため、子ども自ら朝食を食べることの大切さを学び、準備ができることを目標としました。

このことから、食生活・栄養につきましては、強化目標を子どもが主体的に朝ごはんを食べる、重点世代は子どもから４０歳代、達成指標としましては主体的に地域と一緒に調理実習を行う学校が１校以上できるとしました。

取組状況です。これまでの懇話会で委員の皆様が所属されている団体の方でも取り組みを実行していただき、啓発を実施いただくことができました。朝ごはんポスターを商業施設の方で掲示していただき、食生活改善推進員さんと相談して、小学校や学童保育の場で調理実習を行うことができています。達成指標である１校以上の取り組みはできていますが、コロナ禍でここ２年間は取り組みが進んでいない状況にあるため、感染状況を見ながらこちらも進めていきたいと考えております。

続きまして強化目標の運動についてです。

強化目標を立てるに至った津市の状況になります。意識して体を動かす人の割合、平成２７年度の男女別のグラフです。左側の男性のグラフですが、赤枠で囲った２０と３０歳代、右側の女性のグラフ２０から４０歳代において意識して体を動かす人が半数を下回っており、特に女性は意識をしている人が少ないという状況でした。BMI ２５以上の肥満の方が男性女性共に増加している状況もあり、運動方法を限定せず日常生活の中で身体活動量を増やすことを目標としました。

取り組み状況は御覧のとおりです。市が作成しました親子遊びチラシや運動啓発チラシを幼稚園、保育所、子育て支援センター等、様々な場所で配布いただくことができております。

毎年１０月に津まつりと同時に開催している健康まつりでは、懇話会が一つのコーナーを担当いただいております。運動に力を入れて取り組んでいただいていた委員さんの御指導のもと、体力測定ビフォーアフターというテーマでストレッチ前後における柔軟性の変化を体験することで、運動の効果を実感いただいております。右上は壁を押している写真になるのですが、こちらは壁を使ったストレッチというのを皆さんにさせていただいております。また、本日階段を使ってお越しいただいた方は御覧いただいていると思うのですが、階段を使うメリットや消費カロリーを掲載して貼ることで運動の大切さを伝

えるステッカーを作成しまして、市の施設や健康づくり実践企業に広げるなどの取組を行っております。

次に強化目標、たばこになるのですが、時間の都合で5ページ先の津市の状況に進めさせていただきます、また後ほど御確認をお願いいたします。

では、津市第3次健康づくり計画を立てた際の津市の状況の一部になるのですが御説明をさせていただきます。こちらは平成26年のデータになります。最新のデータにつきましてはまた別の機会に御紹介をさせていただきます。上のグラフ、平均寿命ですが、左から津市、三重県、全国の順に並んでおります。男性は津市81.6歳、女性は87.1歳でした。男性では三重県と国より長く、女性では三重県と同数、国よりも長いという結果でした。下の右側の障がい期間の方を御覧ください。障がい間は日常生活で支援や介護を必要とする年数となっております。赤丸を付けたところ、津市は三重県よりも男性女性共に長くなっておりました。この障がい期間をできるだけ短くして健康寿命を伸ばしていくということが必要となります。

次のグラフは標準化死亡比となります。上が男性、下が女性のグラフになります。津市と三重県の死亡率を比較した数値を表しておりまして、平成17年から21年累計と平成22年から26年累計の順に並んでおります。グラフの真ん中のあたりの太い線、100の所が三重県の平均値となっております。男性女性共に赤丸をつけた脳血管疾患が県平均を上回っております。女性では糖尿病、交通事故も上回っているという状況がわかりました。

次のグラフは津市国民健康保険に加入する人の疾病別の平成26年度の受診状況になります。左側のグラフ、受診件数は上から高血圧症、脂質異常症、糖尿病の順に多く、上位はすべて生活習慣病が占めておりました。医療費においても糖尿病を始め、生活習慣病が多いという状況になっております。

次のグラフは全死亡における死因別割合、平成26年のデータです。1位が悪性新生物（がん）、2位が心疾患、3位が脳血管疾患、4位が肺炎、5位が老衰という状況になっておりました。

次に強化目標、生活習慣病・がん、減塩になります。グラフはありませんが、平成23年度の食塩摂取量の調査によりますと、津市は成人で1日11.7グラムの食塩を摂取しておりまして、県全体や近隣保健所管内と比べても多いという状況になっておりました。高血圧症で治療している人は1日の食塩摂取量は6グラム未満とされている中で約2倍多く摂りすぎているという状況がありました。高血圧症をはじめとする生活習慣病予防や脳血管疾患での死亡率を減少させるために食塩の摂取量を減らすことが大切だと考え目標を立てました。

強化目標は若いうちから薄味に慣れる、重点世代は就労世代、達成指標は主体的に減塩のための取組を進める企業が増えるとなりました。

取組状況については、健康づくり実践企業に向けた情報誌に減塩の取組を掲載、企業の職員に向けた健康教育を実施させていただいております。長年の生活習慣を変えることは難しい、子どもたちが楽しみながら減塩に興味を持てることが大切、また、子どもたちから家族に伝え取組が広がっていく等の委員の皆様からの意見を頂戴しまして、昨年度元気戦隊ゲンエンジャーが主人公の減塩啓発紙芝居やテーマソングが完成しました。先ほどこちらの会場でも流させていただいております、前にも紙芝居を置かせていただいておりますが、御覧いただきましたでしょうか。委員の皆様やボランティアさんのお力をいただきまして、手作りで完成した減塩啓発の紙芝居となっております。幼稚園での子どもたちへの紙芝居の読み聞かせ等、ZTVさんのコミュニティチャンネルの方でも2回御紹介いただいております。今年度はこの媒体を活用いたしまして、多くの市民の方に向けた啓発に力を向けていきたいと考えております。

今年の4月に草川会長に津市行政情報番組、健康づくりタイムに御出演いただきまして、懇話会の活動と共にゲンエンジャーの紹介を行っていただきました。今年の6月には津市約12万世帯へ配布しま

す「がん検診のご案内」の冊子の表紙にゲンエンジャーを掲載、7月には津市マイレージ事業のチラシの健康づくりのヒントでゲンエンジャーの紹介を行う等、様々な場面で市民の方々の目に触れるようにと考えております。

強化目標、この後適正体重（健診）につきましては、またお時間のある時に御確認いただきたいと思います。

5. 津市第3次健康づくり計画の評価及び第4次健康づくり計画について

【草川会長】

ありがとうございました。津市第3次健康づくり計画の評価と第4次健康づくり計画についてお願いします。

【事務局】

御説明させていただきます。

第3次健康づくり計画の期間につきましては、健康づくり計画の冊子の表紙に平成29年から34年までと記載されているかと思いますが、昨年8月の国の計画等の期間に合わせまして1年延長ということになりました。第3次健康づくり計画は、国の健康づくり計画である「21世紀における第2次国民健康づくり運動（健康日本21第2次）」というものと三重県の健康づくり計画である「健康づくり基本計画」との整合性を図るために終了年度をそれに合わせまして、令和4年度までとしておりましたが、そちらが先ほど言わせていただいたように国が1年延長したということに合わせまして、津市も同様に令和5年度までに延長し、今後出される国の方向性を確認したうえで計画作成を進めていきたいと考えております。

次に第4次健康づくり計画策定のスケジュールに移らせていただきます。御手元の資料2、令和4年度津市健康づくり推進懇話会年間計画予定表をご覧ください。こちらに懇話会の日程と内容を書かせていただいております。記載させていただいているとおり、令和4年度の健康づくり推進懇話会は会議を5回開催させていただきたいと考えております。第3次健康づくり計画の評価、次期計画の策定のためのアンケート調査項目や、今後の結果・取組について御意見をいただきたいと思います。自分にとっての健康とは、また周囲の方々の健康に対する考え方や取組などを日々の御仕事の中や活動の中でキャッチしていただきまして、次の次期計画への御意見を沢山いただきたいと思います。

第3次健康づくり計画の評価についてです。資料3と資料4を合わせて見ていただきたいと思います。資料3の指標の評価方法のAからDの算出方法というスライドがあるかと思います。AからDの算出方法は三重県が示した進捗率算出方法に当てはめて計算する式が示されておりまして、それを津市の令和2年度までの既存のデータで確認できる36項目をAからDに分けて評価させていただいております。A、B達成改善はの中で36項目中21項目、C、変わらないは3項目、D、悪化は12項目であり、全体の58.3%が改善傾向となっております。反対に生活習慣病・がん、仲間づくり、感染症・熱中症分野の12項目につきましては、目標を達成できていませんでした。令和2年度に懇話会で世代別のコロナ禍における影響を皆様に話し合っていたいただきまして、その中でキーワードを出していただいております。働く世代のキーワードとしましては、「正しい情報の収集と判断」「ストレス」「運動不足」。また、高齢期のキーワードは「つながりの減少」が出されていました。その中で、話し合われた内容からコロナ禍の影響で課題と考えられる分野としましては、この3つの表の中の一つ右の青色のところになりますが、食生活・栄養、運動、生活習慣病・がん、休養、こころ、感染症・熱中症、仲間づくりと

して挙げさせていただきました。

成人アンケート調査の説明に移らせていただきます。まず令和4年度は8月から2種類の成人に対するアンケートを実施していきます。お手元の資料5、津市第4次健康づくり計画策定のためのアンケート調査案を御覧ください。アンケート2種類と申させていただきましたが、8月は市政アンケートを6項目、9月から10月にかけてまして計画策定アンケート29項目程度予定しております。結果分析や課題の抽出は1月頃を予定しております。どちらも18歳以上を対象に3,000人の方を対象にした無作為抽出でのアンケートの依頼となっております。その中で先ほどお話しさせていただきました評価資料で悪化した分野であるものであるとか、コロナ禍の影響で課題になると考えられる分野を考慮しながら前回の懇話会でアンケートを見ていただき、御意見をいただいております。アンケートに家族構成という項目がありますが、そちらは以前は入っていなかったのですが、やはりお一人暮らしと世帯がいらっしゃる方の健康状態は違うということで、家族構成を加えさせていただいております。また、問4の共食の内容につきましても、孤食の定義という観点から聞き方をわかりやすい形でアンケートを変えさせていただいております。また、問24、感染症の影響による健康に対する意識の変化という項目は最初にお示しさせていただいた案には無かったのですが、こちらは必要だと思いますという意見を委員の皆様からいただきましたので、今回項目を追加させていただきました。8項目、運動量、ストレス、お酒を飲む量、健康診断・がん検診、あと就寝時間、新しい人との関係、経済状態、健康への意識の変化、このようなことを項目に入れて聞くことを考えております。このアンケートは案の段階でございます。今後協議を重ねながら今月6月中に内容を確定したいと考えております。是非御覧いただきまして、気になる点がございましたら事務局まで御連絡いただきますようお願いしたいと思います。事務局からの説明は以上となります。

【草川会長】

通常だと何か課題があってそれに対してグループワークしていただき、ある程度の意見を取りまとめるようなことが主な活動になっていますが、グループワークも無いということで、8月の集まりまでにしなければならないのはアンケートを見ておくくらいですか。

【事務局】

はい、アンケートを見ていただきまして、8月までということではなく、6月に確定させていただきたいと思いますので、早速気になることがありましたら御意見をいただきたいと思います。

【草川会長】

ありがとうございます。

6. 津保健所からの情報提供

【草川会長】

いつもお世話になっております、津保健所副所長の紀平様、よろしくお願いいたします。

【紀平副所長】

今年4月に津保健所の副所長になりました紀平と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私は2年間県庁で医療介護人材課というところで医師とか看護師とか専門職種の確保というところを担当

しておりました。私は保健師で津保健所の業務は初めてになります。やはりその地域で住民性というか違いはありますし、アドバイザーを任されたのですが、このような委員の皆様がいる中でとてもそういった助言という立場ではないというか、まだできない部分も多いかと思いますので、皆さんと一緒に第4次計画に向けて色々御意見等を御享受いただき進めさせていただけたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今、津市の取り組みというかこれから第4次計画に向けて評価等もしていくという話なのですがこういった懇話会委員の方々が地域の健康づくりについて考えていくと、それによって市が政策を進めていくというような取り組みをされているのだと改めて感じさせていただいたところです。私からは、国と県のこれからの計画の部分について御説明させていただき、保健所ですのでコロナの状況も情報提供という形でさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

先ほど説明もありましたが、国の方では第2次の健康日本21の計画として平成25年度から「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」というところを目標に取り組んでおりまして、平成30年に中間状況を踏まえて健康に無関心な層を含めた疾病の予防であるとか重症化予防に向けた取り組みを行っているところなのですが、1年度延長して令和5年度末までということになりました。計画期間の延長に伴う目標値と目標年の変更が国のほうは予定していないということになっております。次期計画につきましては令和4年度夏ごろに最終評価の報告書の策定と、次期プランの議論というのが開始されて、来年令和5年の春くらいを目途に次期プランが公表されるというような予定になっております。三重の健康づくり基本計画につきましては、パワーポイントの資料にありますとおり「健康寿命の延伸」と「幸福実感を高めるための心身の健康観の向上」、その2つを目標にオール三重で健康づくりに取り組む社会環境づくりを進めています。その取り組みといたしまして個人が行う三重とこわか健康マイレージ事業、これは先ほど津市からお話がありましたけれども、ポイントに協力していただく特典協力店、現在津保健所管内には令和4年3月末で178店ありますが、今期御参加いただいているイオンさんにも協力店という形で協力をしております。企業等で行っていただくものが三重とこわか健康経営カンパニーということで、管内には30の企業を認定させていただいている状況でございます。これらの取り組みによりまして、健康寿命が中間評価をするときの平成28年に比べ令和2年で男性が78.8歳、女性が81.2歳ということで、横這いではございますけれども、男女ともに延伸をしている、これについては国も同様の状況になっておりまして、国としては一定の成果が現れているのではないかと評価をしております。三重の健康づくり基本計画におきましても令和5年末までとしておりまして、令和5年度に現計画の評価と次期計画の策定を予定しているところです。その為には令和4年度に次期計画の策定に向けて県民健康栄養調査、それと県民歯科疾患実態調査、県民健康意識調査を実施する予定になっております。ただ、次期健康増進計画について、国は健康増進計画の目標値や目標年の再設定については自治体に任せるといえるのか、求めるものではないとしておりまして、三重県では前回のような調査という、同じようなことは難しいと考えてはいるのですけれども、調査の方法等について今どういう方針で進めていくかを検討している最中ですので、この場で説明やどういう形で進めていくかということはお話しできない状況です。

計画については以上で、次にコロナの状況なのですが、4月13日の津市の感染者の発表が一番多く200人でした。150人程度が1週間ほど続きまして、ゴールデンウィークを過ぎ増加するのではないかとすごく心配はしていたのですが、100人くらいまでというので推移しておりまして、現時点ではこの前の土日の報告は非常に少なく土曜日が22人、日曜日が10人でしたが、月曜日になると50人を超えとなり、今30人あたりを推移しているような状況でございます。自宅療養の方も一時期700人ほどみえましたが、6月1日ぐらいの時点では約300人というところで落ち着いてお

ります。ただ高齢者施設でのクラスターが3箇所ほど発生しております。入院につきましては現時点で高齢者の方や妊婦さん、三重県は妊婦さんになると即入院という対応をさせていただいているので、その方も含めて18人です。先日マスクの着用についての考え方が示されましたけれども、保育園等で2歳以上のマスクの着用は一律に求めないとされました。ただ現在津保健所管内では保育園児、小学生等の感染も一時期よりは少なくなっていますし、休園であるとか学級閉鎖というところもある状況ですので、可能な範囲でのマスクの着用は必要であるのかなと考えております。感染者は減少傾向にあるのですけれども、まだまだ気が抜けないという状況でして、引き続き感染対策を行っていただくようお願いしたいと思っております。本日健康づくりの部分でのアドバイスがなかなかできないのですが、今の健康づくり計画の状況とコロナの状況について情報提供という形で終わらせていただきたいと思います。

4. その他連絡事項

【草川会長】

ありがとうございます。事務の方から連絡事項をお願いします。

【事務局】

連絡事項として3点お話しをさせていただきます。

1点目について、お手元に置かせていただきました連絡先記入用紙を見てください。昨年度から委員をしていただいている方で以前から変更なしの場合は御名前だけの記入で結構です。新しい委員さんや連絡先の変更があった方は御記入いただける箇所のみで結構ですので、連絡先を伺いたいと思います。本日御記入後、事務局に渡していただくか次回の懇話会でお持ちいただけたらと思います。

2点目については啓発のチラシです。先ほど説明させてもらったように、懇話会にて啓発を色々してまいりました。たくさんのチラシを作ってきています。受付に何点か置かせていただいたのですが、一人一枚と限らず所属の団体様にて啓発しようかなと思われる方はたくさんお持ち帰りください。ゲンエンジャーのチラシもあります。

3点目は次回の懇話会の開催についてです。令和4年8月18日の木曜日午後2時から午後3時30分を予定しております。会場につきましては本庁舎の8階大会議室での開催となります。よろしくお願いいたします。

【草川会長】

今日は忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今後の開催はもうほとんど感染状況が軽度でしたら会場になるのですかね。

【事務局】

次は本庁舎8階大会議室というかなり大きい部屋を取らせていただいております、距離を取りながら話し合いができるようにと思っております。オンラインでの参加も可能という形で進めたいと思っておりますので御案内のときにオンラインを希望される方はお申し付けくださいという形で案内させていただきます。

【草川会長】

オンラインでグループワークってできますでしょうか。

【事務局】

オンラインで参加する方が2人以上いらっしゃいましたら話し合う環境はつくれるかと思います。そこから発表していただくという、去年と同じような形になると思います。慣れている方はオンラインでも話し合いができるかと思うのですが、顔を見ながら、という方もいらっしゃると思いますので、皆様が話のしやすい形で参加いただければと思います。

【草川会長】

会うことに意味がある集まりでもありますので、何とか都合をつけていただきたいと思います。そうしましたら皆さん気を付けてお帰りください。

【事務局】

ありがとうございました。